

大会開催における新型コロナウイルス感染対策点検表 R2.9.7改正

広島県小学生バレーボール連盟

大会名( ) 令和 年 月 日( ) 会場( )

**会場に必ず持参し、チェックを実施して活動をしてください。**

■基本的な対応		チェック欄
①	三つの密(密閉・密集・密接)のいずれかに該当する状況が発生しないようにする。	
②	大きな声を出したり正対して会話をしたりすることを避け、運動時以外はマスクを着用する。	
③	人との距離が <u>1m以下</u> にならないように身体的な距離を確保する。	
④	参加者及び関係者は、水と石けんを使って、30秒以上の丁寧な手洗いをこまめに行う。	
⑤	こまめな水分補給と塩分補給を心がけ、熱中症対策を講じる。	
⑥	発熱や風邪症状等身体的不調が認められる方は参加させない。	
■大会等当日の対応		
①	感染防止のために主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をまとめた点検表を掲示する。	
②	会場内を定期的に巡回し、感染防止策が保たれているか確認し、観客席のコントロールを確実にを行う。	
③	実施後に、参加者等から感染症への発症報告があった場合の対応方針について、事前に自治体の衛生部局と打ち合わせしておく。	
④	受付窓口、トイレ、会場入り口、本部に手指消毒用のアルコールを設置する。	
⑤	受付時に、健康チェックシートを受け取り、発熱等の風邪症状の有無と来場者数の確認をする。	
⑥	参加者には、試合中コート内にいる選手以外全員のマスクの着用を義務づける。	
⑦	<b><u>試合球、セット間毎に消毒する。</u></b>	
⑧	得点板など備品等は、 <b><u>試合ごとに消毒をする。ラインジャージ用のフラッグも試合ごとに消毒する。</u></b>	
⑨	<b><u>主・副審が、ホイッスルを使用する際は、マスクをつけたまま吹笛したり、フェイスシールド着用したりするなど、飛沫が飛び散らない工夫を講じる。難しい場合は、電子ホイッスルを使用する。また、線審や記録等はマスクを着用して行う。</u></b>	
⑩	ミーティング・開閉会式等は簡略化する。	
⑪	試合前後の握手は、一礼で代替する。	
⑫	手洗い場には、ポンプ型の石けんを設置し、「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。	
⑬	ドアノブ等を定期的に消毒する。	
⑭	試合の前後やセット間に、ベンチ等で密集状態になることを禁止する。	
⑮	試合中のハイタッチ等の選手同士の接触や大きな声でのかけ声等の発声を禁止する。特にネット際では、相手コートに向かって大きな声を出さないよう指導する。	
⑯	タオル・ボトル・アイシングバック等の共用を禁止する。	
⑰	大きな声での応援を禁止する。	
⑱	会場内の換気を常時行う。	
■その他		
①	受付やトイレ等、参加者が密集する場所は、距離を置いて並べるように目印を設置するなど必要に応じて工夫する。	
②	チームが出したゴミは、各チームに持ち帰ってもらう。	

大会終了後、広島県小学生バレーボール連盟 理事長に提出すること